

たてものがたりフェスタ 2018 開催報告

(アーキウォーク広島 担当イベントの報告)



2018年12月 アーキウォーク広島

1. 開催概要

■イベント名称	ひろしまたてものがたりフェスタ 2018
■主催者	たてものがたりフェスタ実行委員会 (※アーキウォーク広島は上記実行委員会の委員であり、下記 8 イベントの運営を担当)
■日程・会場	2018年 11月 9~11日 ・ 広島市内各所

(1) イエズス会 長束修道院

11月 10日(土)

○ガイドツアー 11:15-12:30 当日先着 20名 参加費無料

○建物公開(各自にて見学) 12:30-15:00 定員なし 参加費無料

○瞑想体験 12:30-13:00 定員なし 参加費無料

○昼食体験 13:00-14:00 当日先着 10名 参加費 500円

(2) 比治山本町のアトリエ

11月 10日(土) 15:30-16:30 定員 15名 (事前申込制) 参加費無料

(3) 原爆ドーム (旧広島県産業奨励館)

11月 10日(土) 15:30-16:00 当日先着 20名 参加費無料

(4) 平和記念公園

11月 10日(土) 16:00-16:45 当日先着 20名 参加費無料

(5) 不動院

11月 11日(日) 10:00-12:00 当日先着 30名 参加費無料

(6) 本通り界隈の建築めぐり

11月 11日(日) 13:30-14:30 定員 10名 (事前申込制) 参加費無料

(7) 世界平和記念聖堂

11月 11日(日) 13:30-14:30 定員 20名 (事前申込制) 参加費無料

(8) おりづるタワー

11月 11日(日) 15:30-17:00 定員 15名 (事前申込制) 参加費無料

(入館料 1700円が別途必要)

<今年度のポイント>

今年度は主催者が実行委員会となり、実行委員会で開催経費の大部分が負担されたため、全てのガイドツアーが無料化された。また、建物規模が比較的大きくオペレーションに余裕がある4建物については事前予約不要(当日先着順)とした。

■タイムテーブル（アーキウォーク広島以外が担当するイベントも含む）



■参加者数（延べ）

185名

■広報：イベントガイドブック（実行委員会作成）

ガイドブックは県内各所で配布されたほか、ホームページでのダウンロード配布も行われた。



中国新聞に告知記事が掲載された。(10月29日付)

和風デザインのイエズス会長束
修道院
(広島市安佐南区)

広島再発見 建物×物語

9日からイベント

「ひろしまたてものがたりフェスタ」の
ガイドブック

広島市内の建築物を見て歩くイベント「ひろしまたてものがたりフェスタ2018」が、11月9～11日に開かれる。何げなく見ていた建物が持つ「物語」を知ることで街の魅力を再発見してもらおう。

ガイドツアーを予定している建物もあり、専門家たちが、デザインの特徴や歴史を解説する。イエズス会長束修道院（安佐南区）は、

ガードツアーや、専門家たちが、デザインの特徴や歴史を解説する。イエズス会長束修道院（安佐南区）は、

大学教授や建築関係者でつくる実行委員会が主催。委員の一人で市民団体「アーキウォーク広島」の高田真代表は「建物はその町の地域性や歴史を映し出す。鑑賞する楽しさを知ってほしい」と参加を呼び掛ける。

事前申し込み（先着順）が必要な建物もある。詳しくはフェスタのホームページや、県内の観光案内所などで無料で配布しているガイドブックで確認できる。実行委事務局の広島県宮崎課☎082(5)13)2311。（鈴木大介）

2. 開催状況報告

(1) イエズス会 長束修道院 11月10日(土) 11:15-15:00

修道院の協力のもと、解説付きのガイドツアーのほか、建物公開（自由見学方式）、黙想体験、昼食体験を実施。いずれも事前予約不要とした。ガイドツアーは当日先着20名と設定したが多少の定員超過でも支障ないため、当日来場した27名で開催した。建物公開には13名が来場した。事前に近隣住民にイベント周知チラシを配布しており、一定の効果が認められた。



(2) 比治山本町のアトリエ 11月10日(土) 15:30-16:30

建築家村上徹氏のアトリエを、建築家の案内とともに見学。建物規模が小さいため少人数の事前申込制とした。県外からの参加者が比較的多い。



(3) 原爆ドーム（旧広島県産業奨励館） 11月10日(土) 15:30-16:00

毎年開催している平和記念公園一帯の建物解説であり、今年度は前半の原爆ドームと後半の平和記念公園に分割した。参加者数は昨年度と比べ大幅に増加しており、事前申込不要とした効果が一定程度あったものと思われる。定員は当日先着20名でしたが、多少の定員超過でも支障ないため、当日来場した28名で開催した。



(4) 平和記念公園 11月10日(土) 16:00-16:45

原爆ドームと連続的に実施。本件のみの参加者ではなく、(3)に引き続き28名で開催した。資料館は改修工事中のため建物に近接しての解説はできず、図版や写真を主に用いた。



(5) 不動院 11月11日(日) 10:00~12:00

広島市内唯一の国宝建築である不動院金堂を特別公開（普段は閉まっている）し、藤田盟児氏（奈良女子大学教授）の解説とと

もに見学。定員は当日先着 30 名としたが、多少の定員超過でも支障ないため、当日来場した 39 名で開催した。



(6) 本通り界隈の建築めぐり 11月11日(日) 13:30-14:30

広島の中心である本通り（旧西国街道）周辺の建物めぐり。旧日本銀行広島支店、頬山陽史跡資料館の門、袋町小学校旧校舎、福屋などの被爆建物や、中の棚橋跡などの遺跡などをめぐった。公道を歩くため人数を絞る必要があり、事前申込制とした。



(7) 世界平和記念聖堂 11月11日(日) 13:30~14:30

昨年度と同様、改修工事中のため見学範囲は限定された。解説は現地ガイドに依頼。地下聖堂など通常非公開箇所も含めて見学。運営の都合上人数を絞る必要があり、事前申込制とした。



(8) おりづるタワー 11月11日(日) 15:30~17:00

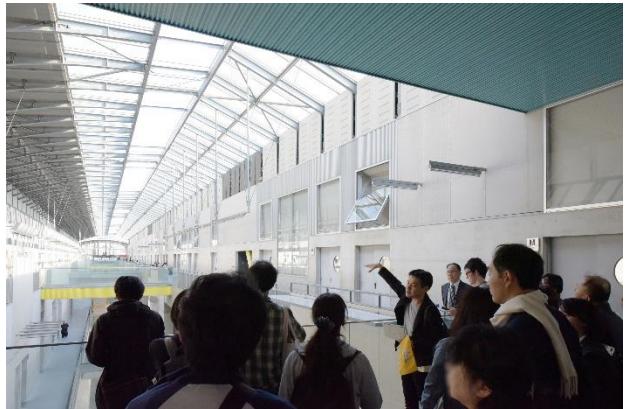
全国的に珍しいオフィスビルのフルリノベーション。施設関係者の解説とともに、通常非公開のフロアを含めて特別に見学した。会場に制約があるため事前申込制としたが、申込したにも関わらず当日来場しない無断キャンセルが複数あり、次回以降に課題を残す結果となった。



なお、アーキウォーク広島は他団体が担当するイベントへの講師派遣も行っている。今年度は下記 4 件へ講師を派遣した。



基町高層アパート見学会への講師派遣



基町高等学校の見学会への講師派遣



矢野南小学校の見学会への講師派遣



平和アパートの見学会への講師派遣

3. 参加者アンケート

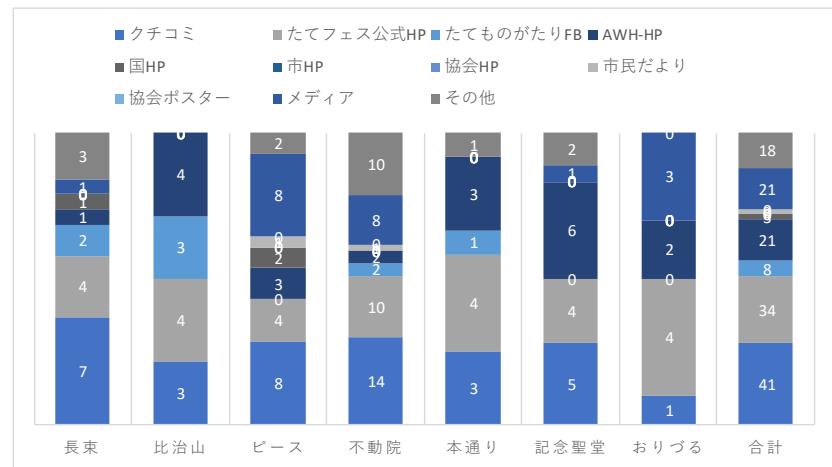
参加者に向けアンケート調査を行った。なお、同一人物が複数イベントに参加した場合それぞれカウントされるため、二重三重にカウントされている可能性がある。また、原爆ドームと平和記念公園は連続的に開催したため、アンケートはまとめて一つとしている。(グラフでは「ピース」と表記)

アーキウォーク広島主催イベントでの参加者層は、30~40代がボリュームゾーンで女性が多く、建築士などの専門家は少ない傾向がある。しかし、今回は昨年度と同様に男女半々で、建築関係者がやや多い、50代が多いという傾向が見られた。初参加者とリピーターは半々であった。イベント満足度は総じて高めであったが、見学時間が短いとの意見が複数見られた。

アンケート調査1 (参加動機等)

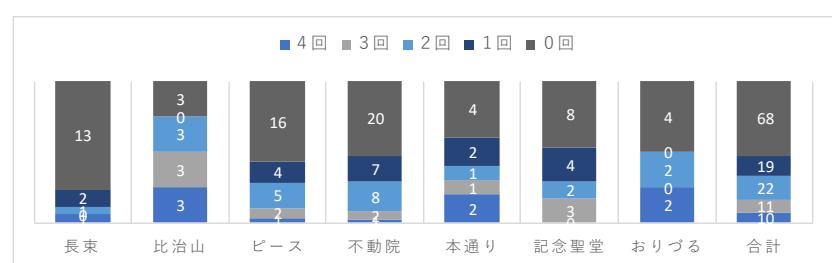
■イベントを知ったきっかけ

傾向は昨年度と同様。たてフェスとしての広報が効果を上げており、アーキウォーク広島の発信力を上回っている実態がうかがえる。



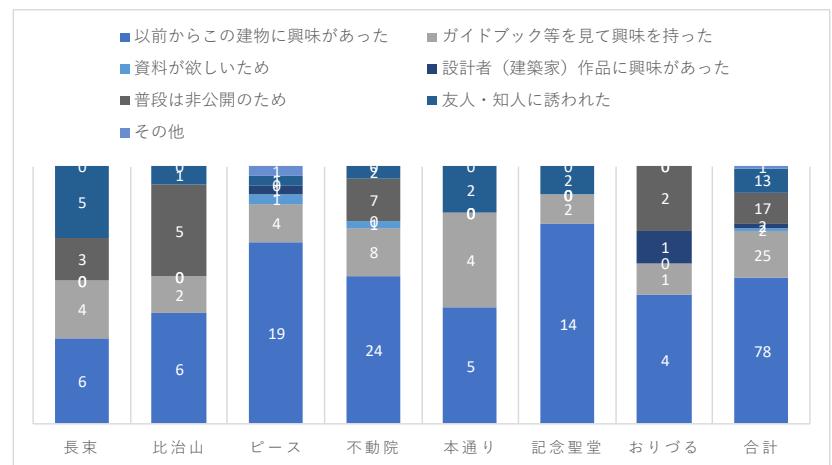
■過去に参加された回数

初参加とリピーターが概ね半々という結果であり、これも昨年度と同様。



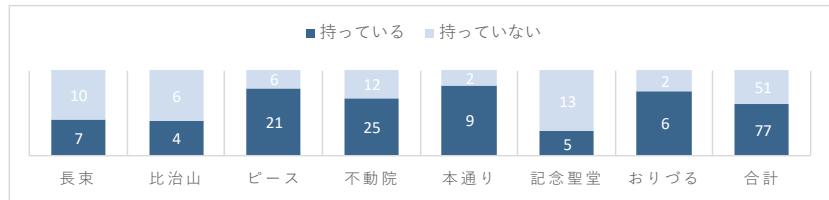
■この建物を選んだ理由

今回の対象には一般に知られていない建物も含まれており、それらでは「ガイドブック」が参加動機として機能している。



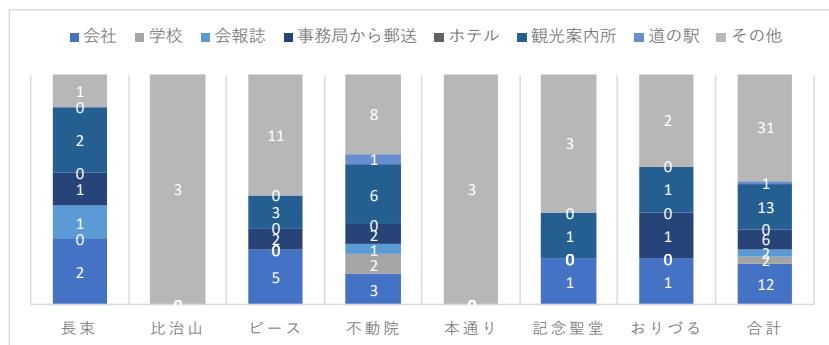
■イベントガイドブックの所持

総じて昨年度より上昇。リピーター率と似た傾向を示すのは、リピーターがガイドブックでその建物を知ったケースがあったためと推察。



■イベントガイドブックの入手先

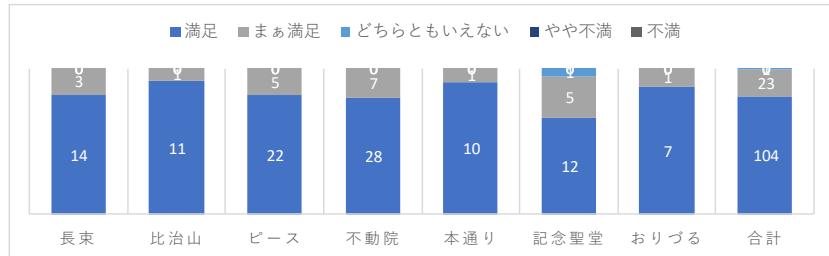
回答そのものが少ないが、「会社」「観光案内所」「その他」が多い。その他としては美術館との回答が目立った。



アンケート調査2（当該見学会の感想）

■イベントの満足度

イベントの満足度については例年通り、総じて高い結果となっている。



■また参加したいか

満足度と同様に総じて高い結果となっている。



アンケート調査3（個人属性）

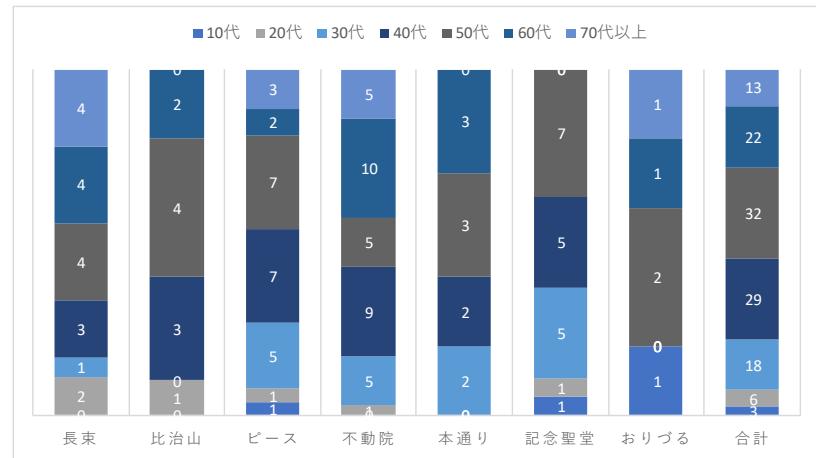
■参加者の性別

過去の実績と同様に、やや女性が多い。



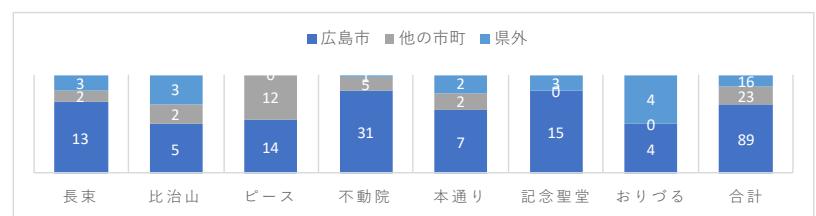
■参加者の年齢層

30~60代でほぼ均等になっている。20代への訴求は引き続き課題となっている。



■参加者の居住地

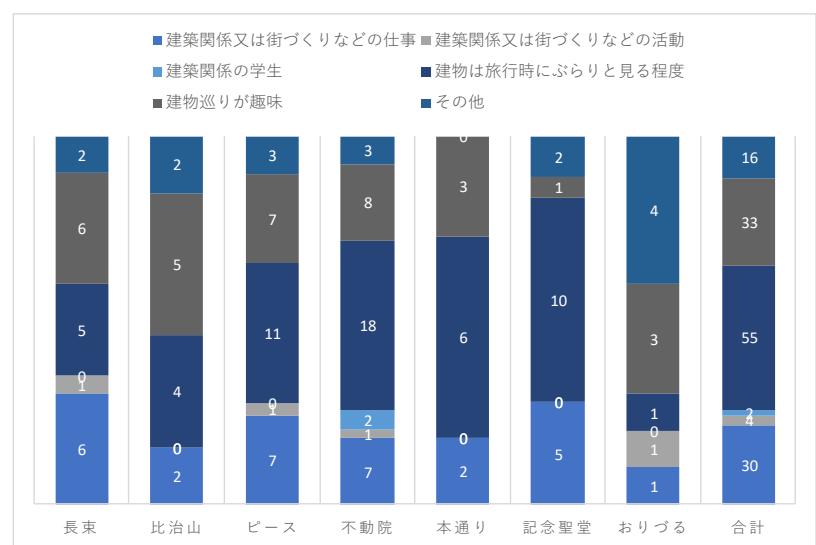
ほぼ例年通り。県外は、東京、愛知、大阪、香川、岡山、山口、福岡など。



■参加者と建築のかかわり

例年通り「趣味」が最多であるが、建築士などの関係職が若干多くなっている。

「おりづるタワー」で建築関係者が少ないのは昨年と同じであり、意外な結果といえる。



4. 主催者所感

- 今年度からは「ひろしまたてものがたりフェスタ」の主催者は広島県から実行委員会に変更となった。アーキウォーク広島は実行委員会の一員として運営に参画した。広報は実行委員会作成のイベントガイドブックが主となった。結果として、昨年度と同様に初参加者が多く、参加のきっかけとして「たてフェス」が機能していると考えられる。
- 実行委員会の構成員がそれぞれ役割分担することで、広島市内 20か所での同時多発的な見学会が開催された。イベント開催時間も時間割に沿って調整されており、1日で数か所をめぐることが可能となっている。さらに、開催経費の多くが実行委員会負担となったことで、今年度は全てのガイドツアーを無料化することができた。
- アーキウォーク広島担当イベントは8件で定員 150名+a(※)に対し、参加者数は185名であった。事前申込不要のイベントを4件設定することで参加ハードルが下がる効果があったものと考えられる。

※定員のないイベントがある